

行政機関向け地域資源管理サービス 「サービス情報共有ページ」の導入事例

・ 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 ・

地域共生社会の構築に必要なインフォーマル資源情報の 共有システムの運用開始

文京区社会福祉協議会（以下、「文社協」という）では、関係者間における地域のインフォーマル資源に関する円滑な情報共有を目的として地域資源の情報の一元化を予定している。

文京区社会福祉協議会の事例におけるポイント

課題

- ▶ インフォーマルな資源の情報をだれがどこまで持っているかが不明瞭となっていた。
- ▶ 資源情報は文社協の地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターが把握している範囲で問い合わせがあった時に答えているという実情。

解決策

- ① 全ての情報を一般向けに公開できない
 - 文社協が管理者となるクローズDBの構築
- ② 多機関が持つ情報を集約できていない
 - 多機関も自由に情報を書き込める環境
- ③ 文社協だけでは情報の管理に限界がある
 - 多機関にアカウントを自由に配布できる環境

効果

- ▶ ワンストップの総合相談体制の構築（制度の狭間にいる方への個人支援）
- ▶ 生活支援体制整備における資源開発（助け合いや通いの場の戦略的な配置）
- ▶ 地域共生社会を見据えた地域づくり（分野横断型のインフォーマル資源の把握）

関係者や専門職が最新のインフォーマル資源を把握できる環境構築

文社協では地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターを中心に、制度の狭間でお悩みを持つ区民の方への個別支援にあたってきました。

近年では、制度内のサービスだけでは安心して生活を送ることが困難な事例や同一世帯の中でも、複数分野にまたがる支援が必要な相談も増加しています。

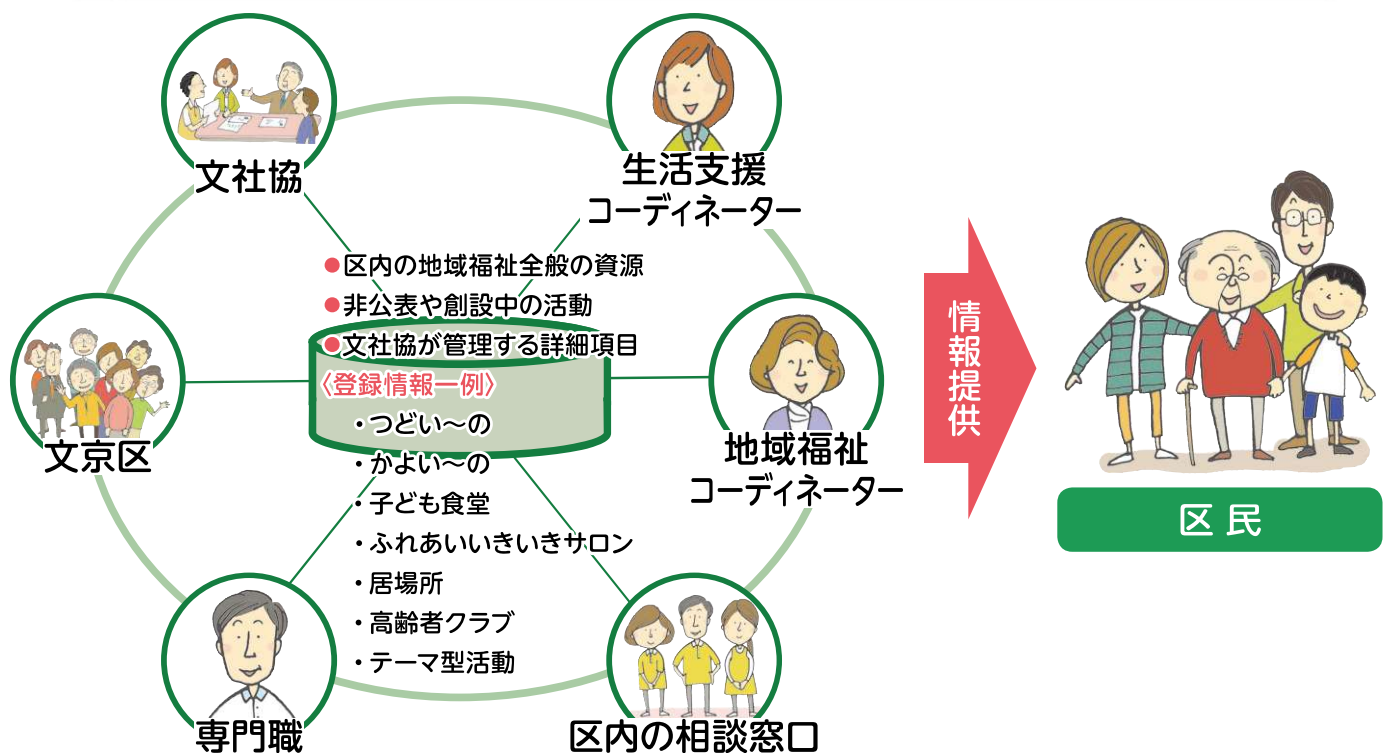
そのような状況下で、文社協では、区民を支援する専門職や相談機関が分野や担当にかかわらず、区内の地域福祉に関するインフォーマル資源情報を相互に把握し、ワンストップの相談ができる体制を構築するためにも、今回のインフォーマル資源データベースの導入を検討しました。

本データベースシステムの運用にあたっては、文社協に加え、区内の専門職や関係機関などにもアカウントを配布し、支援者を中心に情報を共有する想定です。

また、登録情報の分類も自由に変更できるため、高齢分野以外にも、子育て世代や障がいをお持ちの方、ボランティア募集情報など多様な地域情報を包括的に登録していきます。

システムを活用しながら、関係機関の情報連携を強化し、資源情報を個人支援や地域支援に有効に活用していければと考えています。

文京区社会福祉協議会のインフォーマル資源データベースの概要



東京都 文京区

所在地：東京都文京区本郷 4 丁目 15 番 14 号 文京区民センター 4 階
人口：219,812 人 (平成 30 年 8 月 1 日現在)
[関連部局]
社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係

Ayumuサイトは...

カシオ アヤム

検索

or

<https://chiiki-kaigo.casio.jp>



お問い合わせ

経営統轄部 ウェルフェアソリューション推進室

03-5334-4285 (代)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日、年末年始など弊社指定休業日を除く)

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

Ayumu サポートセンター TEL 03-5396-7461